No. 1

# しょうばら



発行日	令和6年4月19日
発行元	環境建設部環境政策課
TEL	0824-72-1398
FAX	0824-72-5517
mail	kankyo-

# 脱炭素地域推進ニュース

# 庄原市ゼロカーボンシティ宣言

このたび庄原市では、次世代を担う子ども達により良い環境を残すため、市 全体で脱炭素社会の実現に向けた取組を進め、機運の醸成を図る目的で、庄原 市地球温暖化対策計画の追加改定と同時に、ゼロカーボンシティ宣言を行いま した。

1.宣言日:令和6(2024)年4月8日

2 宣言文:裏面の通り

詳細については、右記の QR コードをご確認ください。

(https://www.city.shobara.hiroshima.ip/main/life/environment/post 1701.html)

庄原市ホームページ



つぎに、脱炭素社会につながる取組みの一つをご紹介します。

### 3Rの取組と分別したごみのリサイクルについて

3Rは、資源を有効的に繰り返し使う社会(=循環型社会)を実現するための重要なキーワード です。さらに、ごみが減ると市のごみ施設で処理する量も減少するため、温室効果ガスの削減にも つながります。

皆さんのご協力をお願いします。

### リデュース (1)Reduse もっと減らせるかも?

- ●マイバッグを持って買い物に行く
- 食料などの買いすぎに注意する
- ●使用頻度の低いものはレンタルする

#### リュース ②Reuse

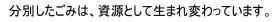
#### まだ使えるかも?

- ●不要なものは人に使ってもらう
- ●詰め替え商品を利用する
- ●リサイクルショップを利用する

### ③Recycle 生まれ変わるかも?

- ●正しく分別する
- ●再生して作られた商品を利用する
- ●食品トレイはスーパーなどの店頭回収へ ●

まずはごみを減らして、繰り返し使って、最後にリサイクルするという優先順位 なんですね。じゃあ、私たちが分別して出したごみは、どんな風にリサイクルされて いるの?

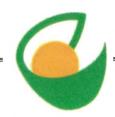


ペットボトル → 圧縮・梱包 → 搬出 → 破砕・洗浄されてマテリアル原料に 空き缶 → 破砕・磁力選別 → 圧縮→ スチール資源、アルミ資源に

『混ぜればごみ、分ければ資源』 引き続き分別にご協力お願いします!!







## 庄原市ゼロカーボンシティ宣言

庄原市は、比婆の山々に囲まれた雄大な自然と、先人の知恵と 努力によって築き上げられた歴史と文化をもつまちです。こうした ふるさとを次の世代に引き継ぎ、元気で住みよい地域づくりを進め ていかなければなりません。

しかし、私たちを取り巻く自然環境は、人類の活動で排出される 温室効果ガスの影響により、台風の巨大化や集中豪雨等の異常気象 による災害が多発しており、安全で安心して暮らせる生活が脅かさ れています。

この課題を解決するため、日本政府は、2020年10月に「2050年 カーボンニュートラル」を宣言するとともに、この宣言と整合的で 野心的な目標として2030年度に温室効果ガスを46%削減(2013年 度比)することを決定し、脱炭素化に向けたロードマップを示しま した。

これまで長きにわたり受け継がれてきた本市の豊かな自然と 文化を次世代に引き継ぐためには、私たち一人ひとりが強い意志を 持って自らの行動を変えるとともに、再生可能エネルギーの最大限 の導入、脱炭素社会の実現に向けた地域一丸となった取り組みが 不可欠です。

よって、本市は、市民・事業者の協働のもと、2050年までに二酸 化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を 目指し、持続可能な将来のために行動することを宣言します。

令和6 (2024) 年4月8日

庄原市長太山耕る